

ポスター発表

(ベストポスター賞最終候補演題)

インタビュー：11月8日（火）17:45～18:45

ポスター発表：11月10日（木）15:45～16:45

貼付：11月8日（火）8:30～11:00／撤去：11月10日（木）16:45～17:30

ポスター会場 3F 303+304

ポスター番号	研究領域	筆頭演者	演題名
BP-01	基礎研究領域	小川 勇	ヒトiPS細胞由来腸管オルガノイドを用いた薬物吸収予測モデルの検証
BP-02		峰岸 元気	PXRとCYP3Aを同時にヒト化したラットの薬物間相互作用解析における有用性
BP-03		仲辻 智貴	Zidovudineとvalproic acidの相互作用における小胞体膜輸送体OAT2の関与
BP-04		石田 尚輝	小胞体膜輸送体OAT2遺伝子変異による抗がん薬Capecitabineの体内動態への影響
BP-05		中園 優也	薬物の胆汁中移行の迅速評価を可能にする新規 <i>in vitro</i> 肝細胞培養系
BP-06		臼井 紳也	核内受容体RAR α を介したリンゴ由来ナノ粒子含有マイクロRNAによる小腸胆汁酸輸送体ASBTの発現調節
BP-07		吉野 将太郎	アデノ随伴ウイルスによる肝選択的デリバリーを利用した肝Bcrpの機能評価
BP-08		藏敷 葉菜	遺伝子工学的技術を用いて合成した血液脳関門透過性環状ペプチド修飾モノクローナル抗体の脳移行性解析
BP-09		竹本 誠也	CYP3A4上流領域に存在するグアニン四重鎖構造の安定化はCYP3A4の転写を促進する
BP-10		岩崎 萌実	薬物動態評価や病態解明に適用可能なヒトiPS細胞由来ポドサイトの作製
BP-11	応用研究領域	今村 千春	UGT1A1をロックアウトしたヒトiPS細胞由来肝オルガノイドの作製
BP-12		樋口 大智	薬物誘発性腎障害 <i>in vitro</i> モデルとしての3次元培養ヒト腎近位尿細管上皮細胞の有用性
BP-13		氏平 勇樹	Microphysiological system (MPS) を用いた定量的FaFg予測法の開発
BP-14		鈴木 美記子	高輝度蛍光ナノ粒子を活用した抗体薬腫瘍内分布の抗原発現依存性と不均一性のイメージング解析
BP-15	企業研究領域	諸橋 康史	ヒトiPS細胞由来腸管細胞(F-hiSIEC™)におけるヒト腸管吸収予測性向上のための取り組み
BP-16		佐藤 翔	ラット、サル及びヒトトランスフェリン受容体遺伝子ノックインマウスにおけるトランスフェリン受容体を介した薬物送達に関する新規生理学的薬物動態モデルの構築と特性評価
BP-17		河野 健太	レポドパエステル型プロドラッグの加水分解における α_1 -酸性糖タンパク質の関与と種差に関する研究
BP-18		永易 美穂	バイオ医薬品の非放射性金属を用いた標識法とマトリクスの影響を受けない誘導結合プラズマ質量分析法(ICP-MS)を用いた新規動態評価法の開発
BP-19		安原 秀典	NanoSIMSイメージングによる化学修飾オリゴヌクレオチドの細胞内分布評価
BP-20		中山 美有	組織透明化技術を用いた全脳の光シートイメージング：アンチセンスオリゴ核酸の網羅的脳内分布解析